



## 地方行政の現場より

首藤正治 (機械系物理工学科 S54 卒 宮崎県延岡市長 )

京機(会)九州支部の春の行事として、5月28日に宮崎県延岡市で旭化成の工場見学等が実施された。概要はすでに「京機短信 No.280」にレポートされている。延岡市を発祥の地とする旭化成は、ご承知の通り、藤原健嗣京機(会)会長が以前に社長を務めておられた会社である。(現在は常任相談役)

私は現在、その延岡市の市長を務めているので、今回初めて京機(会)九州支部行事に顔を出させていただき、久しぶりに同級生と再会できた。京機(会)からのメールに原稿を求める言葉があったのをいいことに、また京機短信 No.281 に載った世話人の久保先生の文章にも刺激され、この際、厚かましくも寄稿させていただこうと思いついた。

私は、機械系教室内に開設された物理工学科の1期生(S54卒)だが、機械工学や物理工学とはかけ離れた政治の道に飛び込んでしまった。しかも、学生時代はろくに研究室に顔も出さずアイスホッケーに明け暮れていたものだから、この文章を読んでいただいている同級生の皆さんにも、もしかしたら「そんな奴いたっけ?」と思われるかもしれない。今回の工場見学会等とは関係のない話で恐縮だが、いい機会なので、はぐれ者の自己存在アピールを含め、政治家として最近感じていることなどを書かせていただきたい。

\*\*\*\*\*

NHKのテレビ番組で「若いチカラと政治」という特集をやっていて、世界各地の若者の政治参加度の違いなどをレポートしていた。衝撃的だったのは、20代の投票率が90%近いというスウェーデンの若者の、次のような言葉だった。

「なぜ政治に関心を持つのかって? **かっこいい** からかな。政治について自分の考えを持っていないと見下されてしまうと思う」

もちろん、スウェーデンの若者だけが生まれながらにそういう価値観を持ってい

るわけではない。番組では高等学校の運営方法なども紹介していたが、日本の生徒会では到底議論の対象にならないような学校マネジメントの領域まで、かの国では生徒から様々な意見が出され、それが本当に学校運営に反映されるというような仕組みが根付いているようだ。こうしたことを含め、国や地域をあげて若者の社会参加への意識付けに取り組んできた成果が表れているということなのだろう。

それにしても、「政治はカッコいい」という言葉を日本の若者はどう捉えるだろうか。日本で「政治」と聞いて連想するのは、もしかしたら舛添東京都知事のあの体たらく、そして、最近判決が出たあの号泣県議あたりかもしれない。2年前の号泣記者会見を最初に目にしたときはあっけにとられたのだが、別のニュースで再度視聴した際にはどんなお笑い芸人より面白いと思い、あまりにも繰り返し放送されるのでそのうち段々腹が立ってきて、最後はあんな政治家がいるという切なさに、見ていられなくなってしまった。

あれを連想すれば、若者でなくとも、決して「カッコいい」なんて思いはしない。こうした政治家の「不適切な支出」や「無様な会見」などの許しがたい行為が、世の中の多くのまっとうな政治家と将来政治家になるかもしれない有為の若者に、どれだけのダメージを与えたか計り知れない。かくいう私も（自称）まっとうな政治家なので、頭にきているひとりだ。

実際、平成27年末に宮崎県の新聞社が行ったアンケート調査などでも若者の政治への無関心は顕著で、結果を掲載した紙面には「政治家へ失望にじむ」、「『なりたくない』69.3%」などの見出しが躍っていた。「あなたは政治家に対するあこがれがありますか？」という質問に至っては「全くない」「あまりない」あわせて94.4%という回答だ。スウェーデンの若者の「カッコいい」という言葉とのあまりにも大きな落差に悲しくなる。国や地域の将来を誰が担うというのだろうか。こうして政治への志を持つ人間が減り、社会はますます劣化する。声を大にして言いたい、政治に無関心な社会は、あやうい社会だ。場合によっては、それはポピュリズムの温床にもなりかねないと思える。

ところで、政治家は有権者の信託を受け、公権力を手にする。その権力の行使については適正かどうかをチェックし監視する仕組みが欠かせない。市長に対しては議会がその役目を負っているし、マスメディアも大きな意味で政治権力のチェック機関という側面がある。だから、不正が行われれば糾弾されなければならないのだけれど、舛添都知事に対する疑惑が日替わりのネタになり号泣県議の会見の様子が長期間にわたって繰り返しオンエアされたように、わかりやすく視聴率の取れる出来事は、まともな政治マターよりはるかに頻度高くセンセー

ショナルに報道される。それは結果的に、政治への怒りや無関心を煽ることになってきた。マスメディアが政治家を叩き過ぎるのが悪いと言っているのではない。メディアが批判ばかりに終始するのは仕方がない。権力者をよいしょするような報道なんて気色悪いことこの上ない。北朝鮮じゃないんだから。

それにしても、飲み屋などでは舛添さんの話題はたくさん酒の肴になっただろう。けれどそれはいつかのゴシップ騒ぎだ。そんなものではなくて、社会や政治のあり方について日常的にもっと考え議論する風土が、日本社会を進歩させるには必要だと感じる。さらに、あえて言えば「政治とカネ」というのは政治の重要課題というよりチェック制度の問題だ。そういうことも大切ではあるが、今ここで私が言いたいのは、国も世界も大きな転換点を迎えている今だからこそ、根本的な政治議論が必要だということだ。例えば「社会保障の理念とそれを実現する税のあり方」だとか、「国家安全保障のスタンス」だとか、「民主主義の根本的なシステム、つまり、選挙制度をはじめ国や地方の統治機構はこれで良いのか」というようなことである。そういう認識がないと、世代を超えて社会のコストを先送りするようなことが延々と続いてしまう。また、ISの脅威や、関連して発生する難民・移民問題、それに連鎖する世界各国の右傾化、各地に広がるポピュリズムの波。日本もその流れの只中にある。衆愚の弊害をせめて最小限に抑えたいものだと思うが、そのために一番有効なのは、民度を上げることだ。

近年、テレビでは「おバカキャラ」なんてのが確立されてしまったように、「教養なんてなくたっていい」と言わんばかりの風潮もある。若者世代を惑わす要素は巷に溢れている。そんな中で、政治をはじめ様々な知的努力に対する健全な価値観を育むことが必要だし、そういう意味で、政治へのまともな関心を日常化することが大切だと思う。

京機会会員諸兄は、世間そして若者への影響力が人並み以上に大きいと拝察する。技術や産業といったフィールドとかけ離れた領域かもしれないが、しかし抜きにできない課題として政治というものをあらためて見つめていただき、若い人たちへのご指導も賜りたい。

(おわり)

# 談風会 騒動録

上田 一成 (S33 卒)

昭和 33 年 (1958 年) 京大工学部機械工学科卒の集まりを、「京岬会」と呼称している。年 1 回の総会は、観光を兼ねて伊勢・伊豆・日光・長野・徳島などで行われたが、最近ではメンバーの高齢化で名古屋と三島で交互に開く事になっている。

京岬会には、若干の分科会がある。「ゴルフ会」は 3 回 / 年実施、実に 67 回に至る。「囲碁会」は、総会に接続して開かれ今度で 3 回目となる予定。

『談風会』は、「談論風発」の短縮形です。「京岬会員」のうち関東地区 (概ね名古屋以東在住の人) で構成され、年 2 回 (1・6 月) 東京八重洲の地下街の決まった店で開催される。総勢十余名。今年の 6 月 21 日に、第 12 回談風会が開催された。



夫々が勝手に演題を事前申告し、会の当日皆さんに披露することになっている。神道・仏教概説・「夏は来ぬ」歌詞考・宇宙論・失われた世代 (GDP)・地球温暖化と氷河の歴史・対韓外交・虞美人草・文明の行く末・等々、これが機械屋の集まりかと驚く程の幅の広さです。

この多士才々達の巻き起こす喧々諤々の大議論は、杯を重ねる毎に加速されるので、談風会の進行係が大変と思はれます。しかし常任幹事に人を得ており、幹事

約1名の鬼神・阿修羅の如き奮闘で毎回平穩無事に終了し、円滑な2次会への移行が来ております。



第10回談風会（2015年1月）において「江戸の文化」が紹介され、その中の1項目に『算額』があった。これが八十路の『談風会大騒動』の元凶であった。『算額』は、江戸時代に額や絵馬に和算の問題や「解」を書き記し神社・仏閣に奉納したものです。「解法が判るか？」と自慢しているのでしょうか。

談風会の解説者は、2枚の算額の拡大写真を紹介資料に添付していた。機械屋には、計算好きが大勢います。1人から早速「御明察」の報が談風会メンバーにメールで届いた。拡大写真の算額の問題で、勿論解法解説付きのメールだった。

これで談風会の面々が、おとなしくお仕舞にする訳がない。直ぐに（2016/5/13）お調子者が『算数学』と称して、「難題」を談風会にメールで奉納してきた。

## 問題

- Ⓢ 広大な砂漠がある。
- Ⓢ 手持ちトラックに燃料缶を満載しても、砂漠の真ん中にしか行けない。
- Ⓢ 砂漠の途中にデポ基地を作り、デポ燃料を使用して砂漠横断を行う。
- Ⓢ 砂漠横断の「消費燃料」は、トラック何台分か。

5月13日から6月21日まで40日間に、平均10信/日のメールが各メンバー間を飛び交っていた。最初は、「何か所」「どの様に」デポ地点を設けるかが、主たる議論の対象だった。4等分・8等分などは当たり前で殆ど子ども扱い、消費燃料10台分以上の答えを出せば「阿保」扱いで大変な目に合います。驚くことに万・億のデポ提唱者も現れた。

六月初め、算額の『御明察』者が「不等間隔7デポ・8台分」の回答を引っ提げて1番乗りしてきた。引き続き「等間隔8デポ・8台分」や「1億デポ・7.673台分」等々、陸続と報告メールが到着した。

80歳の爺様たち10人程を砂漠に集合させ、トラックは1台しかなく、「燃料満載でも砂漠の真ん中しか行けないよ」と、放置してしまった仕打ちは極悪非道です。この極悪非道の仕打ちは、「供給可能燃料＝利用可能燃料」の定理の使用で打破さ

れた。後は、正解値と議論のブラシアップだけである。

最小消費燃料。

『 $7+2021/3003$ 』 = 7.67299367299367299367……台分。

『 $7+ (4 \cdot 3 \cdot 47) / (3 \cdot 7 \cdot 11 \cdot 13)$ 』。

天の啓示で、 $2021 = 43 \cdot 47$ を見つけた者がいた。犬のような嗅覚で数字を嗅ぎまわり、因数分解する達人です。この達人は、2021が2002なら2/3でスッキリできるのに、全く『神の悪戯』と長嘆息していた。神の悪戯にしては、差19は大き過ぎです。神は滅多なことでは悪戯はしません。

メンバーで散々議論に議論を重ねたこの『談風会の大成果』を、今後どう扱うか第12回談風会で議論した。『イグノーベル賞』有力候補との意見も出たが、「まずは母学の京機会に報告する」との結論となった。

騒動録の原稿は上田が担当し、全員のチェック・コメントを受けてから完成させる事との厳命でした。

6月21日の談風会（参加9名）での「砂漠横断問題」の解説は、新田さんです。その他のテーマは下記（1. ～8.）です。

## 1. 「文系学部の廃止？」岸本

### ①報道の自励振動

火の無い処から煙が立ち、マスコミが炎上して文科省バッシングの集中砲火に至るまでの状況を示した。

### ②マスコミ炎上の要因

ゴリ押し安倍政権に危惧の念を持った世論に、マスコミが便乗し世論を煽った。本来は文科省通知の背景・意味を解説し、判り易く世間に知らせるのがマスコミの使命である。

## 2. 「COP21 関連・環境問題」大林

① COP3（1997年）「京都議定書」を採択。最大CO2発生国 米・中は最初から不参加、最後に日本・カナダまで不参加で骨抜きとなった。

② 太平洋島嶼の水没、大陸の砂漠化など危機が迫り、打開を目指し仕切り直したのがCOP21「パリ協定」である。参加国196か国。

③ 「人類の共通目標」 = 「化石燃料⇒クリーンエネルギー」

④ 日本近海のメタンハイドレードを利用しないのは勿体ない。等の意見が出た。

- ⑤蛇足：技術の進歩で食料の大増産が可能になった。現在の地球人口は従来の限界を何倍も超えている。何かの原因で瞬時に壊滅するリスクを多分に含んでいる。こちらの方が大問題だ。

### 3. 「ホセ・ムヒカ」上田

- ①南米アルゼンチンとブラジルに挟まれた小国がウルグアイ東方共和国である。この国の第40代大統領（2010/3/1～2015/2/末）がホセ・アルベルト・ムヒカ・コルダノである。以前は極左ゲリラに加入、度々投獄され、獄中に計14年。
- ②現在は収入の大半を社会福祉基金に寄付する清貧の元大統領。
- ③2016年4月来日。日本で『世界で最も貧しい大統領』として有名。
- ④彼の語録。
- ☞人は独りでは生きられない。最大の懲罰は孤独。
  - ☞ファナチズム（熱狂）は危ない。右・左・宗教…どれも異質に憎しみを生む。
  - ☞失敗から学び再び歩むこと。

### 4. 「日本の野草（路傍・初夏）」。中村

- ①18の野草について写真付きで説明した大作である。
- ②（名称・科・属）・特徴・花期・（生育地・分布）備考の欄があり、詳細な解説がなされている。
- ③私で直ぐ判るのは、ハコベ・ナズナ位しかない。

### 5. 「民族と文様」倉田

- ①2020年東京5輪・パラリンピックのエンブレム A・B・C・D案について、文様が示す意味・精神を解説。

	A案	B案	C案	D案
模様	市松文様	輪	風神・雷神	朝顔
意味	伝統民族文様	躍動・喜び	超える人	明るく微笑

- ②文様には、民族・伝統・文化に根差した深い意味と精神がある。
- ③外国の文様では、インド・ペルシャ更紗や中国の出世を願う竜門の文様、「天の啓示」を象徴するイスラム文様、イギリスのペーズリー文様等を紹介。
- ④縄文土器を例示し、日本列島に育まれた縄文人の美的感性の表現物として解説。

## 6. 「アルファ碁（人工知能）」梅本

- ①「グーグル社」（米：カルホルニア州）が命運をかけた1大プロジェクト。
- ②最難関知的ゲーム囲碁に挑戦し、『アルファ碁』を作った。
- ③2016/3/9～15 韓国ソウルのホテルで世界屈指の『李世ドル』プロ棋士と5番勝負。持ち時間2時間。後60秒毎。4勝1敗で『アルファ碁』が圧勝した。

### 『アルファ碁』の特徴

- ♣ 深層学習
  - ♣ アルファ碁専用半導体「テンソル処理ユニット：TPU」開発。
  - ♣ インターネットから16万局の棋譜を入力。自己対局3千万回。
- ④ 世界NO1棋士中国の「河潔」の言。李世ドルは人類の代表には値しない。私なら勝てる。

## 7. 「新幹線・新高岡ー瑞龍寺など」小西

- ①高岡の瑞龍寺の紹介
- ②高岡の銅鑄物・漆器等の紹介
- ③旅行記

## 8. 「がん治療の最近の動向」池村

- ①「完治を目指す治療設計」では混合治療を推奨。
- ②「粒子線（H or C の原子核）」照射の紹介。治療の1部が2016/4から保険適用。
- ③免疫療法の紹介。新薬オブジーボによる免疫療法。ANK免疫細胞療法。
- ④遺伝子情報解析検査による治療薬選びを行う。方法等を紹介。

## あとがき

談風会メンバーのメール交換量は凄まじい。談風会のメール通信の方は、『談嵐会（だんらんかい）』と呼んだ方がよいのかもしれない。

全国に存在する算額については、『和算の館』（<http://www.wasan.jp>）で調べることができる。Google で、『和算の館』を検索することも可能。

(おわり)

## 利き酒用の猪口

檜原 勇多賀 (37年卒)

利き酒用の猪口は真っ白な容器の底に藍色で蛇の目の模様が入っている。一体何故このようなデザインのものを利用しているのだろうか？

まず、容器の色が白なのは、日本酒に付いている僅かな色を見分けるためである。

透明なガラスの容器で利き酒をする場合でも、ガラスの向こうに白い紙をあてがうと酒の色が良く分かる。

つぎに、容器の底にある藍色の蛇の目は、日本酒の濁り(「冴え」とも言う。)を見るためにある。



正式な利き酒用の猪口の蛇の目模様は染め付けられており、その境界がくっきり出ているので、酒に濁りが有るとその境界がボケて見える。

藍色を使うのは、この色の染付が最も安価なだけである。

何故蛇の目なのかと言うと、古くから神事に深く関わりのある日本酒を清める意味で、魔除けとして蛇の目になったとか・・・

ちなみにこの蛇の目猪口が利き酒用のぐい飲みとして正式採用されたのは、明治四十四年の第一回全国新酒鑑評会からだそうだ。

鑑評会で使う利き酒の容器はもりきり一合、今でいえば180ミリリットルはいる白磁の猪口で、この猪口に酒を七分目くらいにつぐ。七分目にして満杯にしないのは、上面の空所にこもる酒の香気をおさえて嗅ぐためである。

国税庁使用の利き酒用猪口の外側の底には「宇平」という文字が書かれている。これが公式用の猪口の証である。

ところで、検尿用のハルンカップの底にも同じような蛇の目模様が付いている。これも尿の濁りを見るためのものである。

(第9話 終わり)

## 嶋本研 同窓会報告

平成28年6月4日に、グランドプリンスホテル京都にて、24名のご参加のもと、「嶋本讓先生ご夫妻を囲む会（研究室同窓会）」を開催いたしました。

おかげさまで盛会となり、卒業生からご結婚の報告も飛び出すような楽しいひと時を過ごすことができました。嶋本先生ご夫妻もたいへんお喜びになっておられました。

織田 剛（1990年卒）



# 京機会 ミュージックカフェ 2016年度 活動報告

京機会ミュージックカフェは、本年度も当初の趣旨通り「普段はできないような音楽とお食事おしゃべりのユニークな時空体験」を実施し、ますます盛り上がり親睦をはかることができました。

第7回 プレミア企画  
「歌劇とグルメとワインのKEIKIプレミアパーティー

【日時】 平成28年5月21日(土)  
【場所】 神戸 北野坂ショウレストラン「ブライン・カフェ」  
【参加者】 20名。全員ご夫婦一画期的!!

【内容】  
中世ヨーロッパ風の豪華な雰囲気プライベートステージを有するレストラン「BRUIN CAFÉ」にて開催。北新地にもお店をもつ山根大介シェフによるローストビーフ等のフルコースとワインで気分が高まってきたところで、いよいよショウの幕開け。OSK日本歌劇団の元トップスター、那月峻さんの歌劇を楽しみました。「ジョニーへの伝言」「5番街へのマリー」など男と女の物語と歌劇特有の誘いこまれるような舞踏に、酔いしれました。前宣伝が効いて全員がご夫婦参加という画期的な開催となり、プレミアパーティーのふれこみ通り会場が華やかに、にぎやかに盛り上がりました



OSKの元トップスター、那月峻さん



誕生日記念として参加された田中様を  
ステージ上でお祝いして下さった那月峻さん



ステージ前のグルメとワインで盛り上がるみなさま

第8回 土肥絵里香さん RighteousGirls  
gathering blue リリース記念コンサート

【日時】 平成28年6月3日(金)、5日(日)  
【場所】 大阪 堀江アルテ  
【参加者】 13名。うち4組がご夫婦で参加



【内容】

京機会第2回ミュージックカフェで取り上げました、京機会会員 土肥さん(S52卒)ご令嬢 土肥絵里香さんデビューCD gathering blue / RighteousGIRLS がリリースされ、ニューヨーク、ワシントン、シカゴでのコンサートも大成功。いよいよ大阪で凱旋コンサートを開催されました。

絵里香さん(ピアノ)はマンハッタン・スクール・ミュージックで出あったジーナ・アイゾさん(フルート)と出会いデュオとしてCDデビューされました。

コンサートでは、今まで誰も聞いたことのないような、どのようなカテゴリーにも収まりきれないような創造的かつ前衛的なピアノとフルートのコンビネーションアートが繰り広げられました。

年配の方は、「プログレ」を想起したかもしれませんが、ご本人たちは、知る由もない世代ですから、正真正銘の創造音楽です。

さらに想定外のできごと。当ミュージックカフェで取り上げました、ジュンとネネのネネさんが鑑賞のために来場。コンサート中に、ごあいさつもいただき、絵里香さんも感激の面会。会場から驚きの声。もちろん、ご本人はすっかり異分野音楽に新鮮な刺激を受けておられました。

京機会が、全く異分野のアーティストの出会いを作り出すという画期的なできごとでした。



左から、絵里香さん・ネネさん、ジーナさん

**1 . 第31回 実行実現点検会合 配布資料** 平成27年12月25日

**テーマ： 地域経済のグローバル化、 観光**

- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou.html>  
資料1： 三村主査提出資料（地域経済のグローバル化について）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou1.pdf>  
資料2： 経済産業省提出資料（T P Pの利活用促進に向けた施策について）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou2.pdf>  
資料3： 知財事務局提出資料（「クールジャパン官民連携プラットフォーム」の設立について）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou3.pdf>  
資料4： 三村主査提出資料（『日本再興戦略』改訂2015における観光分野の論点）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou4.pdf>  
資料5： 三木谷議員提出資料（『超観光立国』の実現に向けて）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou5.pdf>  
資料6： 国土交通省提出資料（観光に関する取組について）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou6.pdf>  
資料7： 農林水産省提出資料（「食と農の景勝地（仮称）」の創設）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou7.pdf>  
資料8： 経済産業省提出資料（観光予報プラットフォーム）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/siryou8.pdf>  
参考資料1： KPIの進捗状況について（地域経済のグローバル化部分抜粋）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/sankou1.pdf>  
参考資料2： KPIの進捗状況について（観光部分抜粋）
- <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai31/sankou2.pdf>

**2 . 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議ワーキンググループ**

（第1回）平成27年12月1日

- [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai1/gijisidai.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai1/gijisidai.html)  
資料1： 出席者名簿
- [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai1/siryou1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai1/siryou1.pdf)  
資料2： 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議ワーキンググループの開催について
- [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai1/siryou2.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai1/siryou2.pdf)  
資料3： 石井 至氏提出資料
- [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai1/siryou3.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai1/siryou3.pdf)  
資料4： デービッド・アトキンソン氏提出資料
- [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai1/siryou4.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai1/siryou4.pdf)

資料 5 : 川島久男氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai1/siryou5.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai1/siryou5.pdf)

資料 6 : 佐藤裕久氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai1/siryou6.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai1/siryou6.pdf)

(第2回)平成27年12月7日

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai2/gijisidai.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai2/gijisidai.html)

資料 1 : 出席者名簿

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai2/siryou1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai2/siryou1.pdf)

資料 2 : 大西雅之氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai2/siryou2.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai2/siryou2.pdf)

資料 3 : 小田真弓氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai2/siryou3.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai2/siryou3.pdf)

資料 4 : 國島芳明氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai2/siryou4.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai2/siryou4.pdf)

資料 5 : 田川博己氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai2/siryou5.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai2/siryou5.pdf)

(第3回)平成27年12月10日

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai3/gijisidai.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai3/gijisidai.html)

資料 1 : 出席者名簿

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai3/siryou1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai3/siryou1.pdf)

資料 2 : 李容淑氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai3/siryou2.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai3/siryou2.pdf)

資料 3 : 澤田秀雄氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai3/siryou3.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai3/siryou3.pdf)

資料 4 : 富山和彦氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai3/siryou4.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai3/siryou4.pdf)

資料 5 : 原田劉静織氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai3/siryou5.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai3/siryou5.pdf)

(第4回)平成27年12月18日

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai4/gijisidai.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai4/gijisidai.html)

資料 1 : 出席者名簿

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai4/siryou1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai4/siryou1.pdf)

資料 2 : 井上慎一氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai4/siryou2.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai4/siryou2.pdf)

資料 3 : 唐池恒二氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai4/siryou3.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai4/siryou3.pdf)

資料 4 : 秋元雄史氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai4/siryou4.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai4/siryou4.pdf)

資料 5 : 滝久雄氏提出資料

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko\\_vision/wg\\_dai4/siryou5.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/wg_dai4/siryou5.pdf)

### 3. 「民泊サービス」のあり方に関する検討会（第1回）平成27年11月27日

[http://www.mlit.go.jp/kankocho/page06\\_000093.html](http://www.mlit.go.jp/kankocho/page06_000093.html)

1. 検討会の開催趣旨について
2. 関連する現行制度について
3. 検討に当たっての基本的な視点と主な論点（案）について
4. 今後の検討スケジュール（案）について

議事次第 <http://www.mlit.go.jp/common/001111871.pdf>

座席表 <http://www.mlit.go.jp/common/001111872.pdf>

資料 1 開催要領 <http://www.mlit.go.jp/common/001111873.pdf>

資料 1 別紙：構成員名簿 <http://www.mlit.go.jp/common/001111874.pdf>

資料 2 「規制改革に関する第3次答申抜粋」及び「規制改革実施計画抜粋」  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111875.pdf>

資料 3 宿泊需給の状況について（観光庁）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111876.pdf>

資料 4 - 1 旅館業に関する規制について（厚生労働省）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111877.pdf>

資料 4 - 2 国家戦略特別区域における旅館業法の特例について（厚生労働省）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111878.pdf>

資料 4 - 3 旅行業法の概要（観光庁）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111879.pdf>

資料 4 - 4 建築基準法関係（国土交通省）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111880.pdf>

資料 4 - 5 住宅の一部を民泊として活用する場合に想定される消防用設備等について（消防庁）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111881.pdf>

資料 5 今後の検討に当たっての基本的な視点とされる主な論点（案）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111882.pdf>

資料 6 旅館業法遵守に関する通知に係るフォローアップ調査結果の概要（厚生労働省）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111883.pdf>

資料 7 諸外国における規制等の状況について  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111884.pdf>

資料 8 今後のスケジュール（案）  
<http://www.mlit.go.jp/common/001111885.pdf>

## 第1回「民泊サービス」のあり方に関する検討会 平成27年11月27日

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000105310.html>

1. 検討会の開催趣旨について
2. 関連する現行制度について
3. 検討に当たっての基本的な視点と主な論点(案)について
4. 今後の検討スケジュール(案)について

### 資料1 「民泊サービス」のあり方に関する検討会開催要領

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105308.pdf>

### 資料2 「規制改革に関する第3次答申(平成27年6月16日

規制改革会議)抜粋」及び「規制改革実施計画(平成27年6月30日閣議決定)抜粋」

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105309.pdf>

### 資料3 宿泊需給の状況について(観光庁)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105311.pdf>

### 資料4 - 1 旅館業に関する規制について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105312.pdf>

### 資料4 - 2 国家戦略特別区域における旅館業法の特例について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105313.pdf>

### 資料4 - 3 旅行業法の概要(観光庁)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105314.pdf>

### 資料4 - 4 建築基準法関係(国土交通省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105451.pdf>

### 資料4 - 5 住宅の一部を民泊として活用する場合に想定される消防用設備等について(消防庁)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105315.pdf>

### 資料5 今後の検討に当たっての基本的な視点と想定される主な論点(案)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105316.pdf>

### 資料6 旅館業法遵守に関する通知に係るフォローアップ調査結果の概要(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105317.pdf>

### 資料7 諸外国における規制等の状況について

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105318.pdf>

### 資料8 今後の検討スケジュール(案)について

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000105319.pdf>

## 4. シェアリングエコノミー 世界の常識、日本を急襲

Airbnbが世界で流行るワケ 民泊先進国、オランダに見る普及のヒント

2015年12月22日 日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/121800066/122100004/>

世界中で急拡大するシェアリングエコノミー。個人と利用者を結ぶプラット

フォームで、配車サービスの「Uber（ウーバー）」と双璧をなすが、「Airbnb（エアビーアンドビー）」だ。エアビーは、「民泊」の世界最大のプラットフォームで、2008年に米サンフランシスコで誕生した。自宅の一室や、相続した空家など、遊休資産を貸し出したい「ホスト」と、そこに泊りたい旅行者である「ゲスト」をマッチングする。現在、登録されている部屋数は200万室で、これまでの累計利用者数は6000万人に達する。市場で試算されている企業価値は、250億ドル（3兆円）と、米高級ホテルのマリオット・インターナショナルの130億ドル（1兆5000億円）を既に大きく上回っている。エアビーはなぜここまで事業を拡大できたのか。その謎を探るため、ホスト数が急速に増えているオランダのアムステルダムに飛んだ。そこには、日本で定着しつつあるイメージとは違うカタチの“民泊”があった。

#### 5. 民泊トラブルの増加と規制の動き 2015/12/22 ニッセイ基礎研究所

[http://www.nli-research.co.jp/report/researchers\\_eye/2015/eye151222-3.html#repo\\_kanren](http://www.nli-research.co.jp/report/researchers_eye/2015/eye151222-3.html#repo_kanren)

今年の夏頃から、個人の住宅やマンションの空き部屋に有料で宿泊者を受け入れる「民泊」に関するトラブルが大きく報道されるようになってきました。高級タワーマンションを含め、マンションへの外国人など居住者以外の不特定多数の出入り、パーティーなどの騒音、乱雑なごみ出し、テロや犯罪など治安への不安、無許可民泊オーナーの送検1や所得の申告漏れなどです。すでに、一部のマンションではトラブルへの対応として、管理規約の見直しをすることで民泊を禁止する動きも出ています。こうした問題は、現在、民泊を規制する法律が存在していないことが一つの理由とされます。それに加え、どこにどれだけ誰が所有する民泊が存在し、誰がどれほど民泊に宿泊したかが全く分からない状況も、近隣とのトラブルや不安を招いているのでしょう。

#### 6. 急増する外国人観光客に向け注目の「民泊」 来春解禁でどうなる？

2015年11月24日 Nikkei BPnet

[http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/matome/15/325410/112200129/?top\\_matome](http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/matome/15/325410/112200129/?top_matome)

民間の住宅などを宿泊場所として提供する、いわゆる「民泊」が注目を集めている。海外では「Airbnb」など「シェアリング・エコノミー」と呼ばれるサービスとして知られる。厚生労働省と国土交通省は2016年4月をめどに、法改正をしない範囲で民泊を全国で解禁する方針を決めた。法改正を伴わない範囲で、トラブルを防ぐための基準づくりを進める考えだ。

#### 7. 爆買いの次に来るのは地方観光？ 地元密着のキーパーソンがカギ

2016年1月5日 日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/opinion/15/221102/122500135/>

旅行者のなかには何度も日本を訪れるリピーターが増えつつある。リピーターたちは都心だけでなく、新たな楽しみを求めて地方にも足を伸ばす。ブランド品の購入をはじめとした「モノ」だけでなく、自然や伝統文化を楽しむ「コト」の消費に興味を持ち始めているのだ。2015年に続き2016年もこの勢いは強まりそうだ。

## 8 . DOL 経営解説委員会～経営の達人が教えるリーダーの教養

儲かるばかりでなくコストもかかる 「爆買い需要」の先を読み

2015年12月18日 DIAMOND Online

<http://diamond.jp/articles/-/83394>

今回のテーマは「爆買い」です。「爆買い」とは、主に中国人観光客が大量に日本製品を購入することです。今や日本の消費を盛り上げる一大要因となっており、日本企業の多くは何とか旺盛な中国人の需要を取り込めないかと考え、試行錯誤を続けています。最近では、あまりの中国人観光客の多さに道路や店が混雑して困るという声も増えているようですが、私は爆買いを日本のビジネスを見直すよいチャンスになるのではないかと、ポジティブに捉えています。

## 9 . 国際比較から考える訪日外国人 3,000 万人の展望と課題

観光大国」の名に見合う国はどこか、「爆買い」に振り回されず目指すべき方向をどう考えるか

2015年12月17日 日本総合研究所

<http://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/researchfocus/pdf/8590.pdf>

ここ数年、海外からわが国を訪れる旅行者は急増し、最近では年間2,000万人に届かんとする勢いである。このため、訪日外国人3,000万人といった数字すら話題にのぼっている反面、世界ランキング上位各国との間の来訪者数の大きな差を強調することで、わが国の観光への取り組みの立ち遅れを指摘する見方もある。しかし、表面上の来訪者数は多いが実態は「観光大国」と言いにくい国も多く、その名に値するのはフランス、米国など限られる。アジアではタイが中国以上の「観光大国」である。

## 10 . 中国経済減速でも中国人訪日客が減らない理由

2015年11月30日 DIAMOND Online

<http://diamond.jp/articles/-/82204>

ビジネスマンであれば大国・中国の景気動向に敏感になるのは当然だろう。しかし、報道に振り回されては本質を見失う。私は旅行業とホテル事業にかかわる者として、ときに疑問を感じることもある。

## 11 . 香港からも欧州からもいなくなる中国人観光客

2015.11.25

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/45325>

出張で香港を訪れた。香港国際空港はいつも中国大陸からの観光客でごった返しているが、今回は入国審査を通過するのに10分もかからなかった。そこから市内に行くために「機場快車」という電車に乗ったが、乗客は4割程度だった。安い部屋を予約していたホテルにチェックインすると、オーシャンビューの部屋に案内してくれた。

## 12. おらが村のインバウンド

2-1 外国人が押し寄せる熊野古道の「新名所」外から来た人の視点で千客万来を実現

2015年12月4日 日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/112700055/120300004/>

JR紀勢本線の紀伊田辺駅に下り列車が到着すると、リュックサックを背負った外国人が、一人また一人とホームに降りてくる。改札を出てほぼ全員が向かうのが、駅舎の隣にある一般社団法人「田辺市熊野ツーリズムビューロー」だ。世界文化遺産の「熊野古道」の入り口として知られるこの場所で、外国人観光客向けの情報提供や宿泊の手配を行っている。

12-2 香港人が和歌山を好むワケ

2015年11月30日

地方送客のカギは「ユーザーイン」の視点

日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/112700055/112700001/>

訪日観光客の勢いが止まらない。「2020年に年間2000万人」の目標は既に射程に入り、さらに4000万人に引き上げる案も浮上する。そうした中、一部の観光都市にとどまっていた効果が地方に波及し始めた。日本人が魅力的に捉えなかった、何気ない田舎の日常風景。それが外国人の目には新鮮に映り、貴重な観光資源に変わる。観光資源がないと諦めていた「おらが村」に外国人を呼び込む。インバウンドの第2ステージ、それは地方創生の原動力になる。日経ビジネス11月30日号の特集「おらが村のインバウンド」では、インバウンドの第2ステージにいち早く取り組み始めた企業や地域の成功例や失敗例を提示し、成功の秘訣を探った。この連載では、特集の連動企画として、誌面では紹介しきれなかった地方の先進的な取り組みの詳細をレポートする。

12-3 中国人団体客は観光産業の発展に貢献しない

2015年12月2日

台湾政府観光局が考える、国を富ます観光戦略

日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/112700055/120100002/>

訪日観光客の勢いが止まらない。「2020年に年間2000万人」の目標は既に射程に入り、さらに4000万人に引き上げる案も浮上する。そうした中、一部の観光都

市にとどまっていた効果が地方に波及し始めた。日本人が魅力的に捉えなかった、何気ない田舎の日常風景。それが外国人の目には新鮮に映り、貴重な観光資源に変わる。観光資源がないと諦めていた「おらが村」に外国人を呼び込む。インバウンドの第2ステージ、それは地方創生の原動力になる。日経ビジネス11月30日号の特集「おらが村のインバウンド」では、インバウンドの第2ステージにいち早く取り組み始めた企業や地域の成功例や失敗例を提示し、成功の秘訣を探った。この連載では、特集の連動企画として、誌面では紹介しきれなかった地方や海外の先進的な取り組みの詳細をレポートする。

### 13. 日本人が知らない新・ニッポンツーリズム

2016年1月7日

地元の農業を結実させたテーマパークで人を呼ぶ

日経ビジネスOnline

なめがたファーマーズ・ヴィレッジ（茨城県行方市）

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/261527/122800007/>

2015年10月に大筋合意したTPP（環太平洋経済連携協定）。協定発効後に日本の農業に与えるインパクトを懸念し、農業の体質強化が求められています。農林水産省の「農林業センサス（2015年速報値）」によれば、日本の農業就業人口は10年の前回調査から51万6000人（19.8%）減となる209万人で、1985年時点の542万8000人の半分以下に落ち込んでいます。農業就業者の平均年齢も前回調査の65.8歳から66.3歳へ上昇し、就業者のうち65歳以上が132万6000人（63.5%）を占めます。

### 14. 「日本食は素晴らしい！」しかしそのストーリーは外国人観光客に伝わっていますか

2015年12月17日 PRESIDENT Online

<http://president.jp/articles/-/16930>

「インバウンド」。今年は本当にあちこちで、この言葉を耳にしたのではないのでしょうか。今年の流行語大賞に選ばれたのは「爆買い」ですし、日経トレンド誌の「2015年ヒット商品ベスト30」でも、3位に「インバウンド消費」がランクインしています。実際、銀座の街を歩けば日本人よりも外国からの観光客のほうが多いのでは？ と思うくらい、今の都市部や観光地の経済にとって、来日している外国人によってもたらされる経済的な恩恵は計り知れません。当然、飲食店も例外ではありません。クチコミ情報が充実しているトリップアドバイザーなどで高評価を受けているラーメン店や回転寿司店、居酒屋などには連日多くの外国人が訪れています。

### 15. これでいいの？日本の景観

2015年12月4日

「京都ってインドみたいなどころなんですね」

日経ビジネスOnline

「美しい国だワクチン」を接種された日本人

アレックス・カー

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/opinion/15/111100012/111100001/>

アレックス・カーさんの著書『ニッポン景観論』の中にある「ニッポンの景観テクノロジーを世界に」から引用した、イタリア・フィレンツェのダヴィデ像とモンタージュ写真です。添えられたキャプションのブラックユーモアに、思わず笑ってしまいます。……しかし、笑った後にしみじみ悲しく、情けなくなりませんか。

## 16．ムスリムに人気急上昇、侍ラーメンの秘密に迫る

2015年11月30日 日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/opinion/15/221102/112700113/>

11月30日号の日経ビジネス特集「おらが村のインバウンド 地方創生主役は外国人」では、SNS（交流サイト）や口コミで外国人観光客に人気の意外な観光地やサービスを紹介した。誌面では紹介し切れなかった事例も多いが、ここでは、ムスリム（イスラム教徒）の間で人気急上昇中のインスタントラーメン「侍ラーメン」を取り上げ、その開発の秘密に迫ってみたい。

## 17．なぜ外国人観光客を心から歓迎できないのか

2015年12月3日

松田英子教授に聞く

日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/interview/15/238739/120100094/?bpnet&rt=nocnt>

外国人観光客が急増している。観光地や都心部にはかつてないほど海外からの旅行者が溢れ、爆買いマネーで潤う企業も増加中だ。高齢化で市場成熟が進む今後の日本は、外国の人々に来てもらいお金を使ってもらうことが経済活性化に不可欠。政府の観光立国政策は、着実に成功へ向けて前進していると言っていい。だが、すべての日本国民が、押し寄せる外国人観光客を心の底から歓迎しているかと言えば話は別。表向きはそうでも、どこかで、街を埋め尽くす観光客に複雑な感情を抱いている人も少なくないのではないだろうか。外国人観光客の多くは日本のルールを守っており、一部を除けば迷惑行為などもしていない。「人類は皆兄弟」でもある。それが分かっているながら、せっかく日本に来てくれた方々に、ネガティブな感情を抱くとすれば、レイシストの素養があると言われても仕方がない。そう不安に思っている人もいるのでは。外国人観光客に対する日本人の複雑な心情を専門家に分析してもらった。

## 18．観光地域づくりに不可欠な“地域の人の力”

2015/11/20 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

[http://www.murc.jp/thinktank/rc/column/search\\_now/sn151120](http://www.murc.jp/thinktank/rc/column/search_now/sn151120)

各地で地方創生に向けた動きが活発化している中、次年度は「次年度新型交付金」という形で、引き続き国からの支援が継続されることになる。